

総合計画／実施計画書 兼 事業評価シート

事業期間 H20 ～ H22

担当部局	部局名	建設部
	課室名	建設課

1. 基本施策名等（基本計画における「基本施策名」等を記入）		
基本施策ID	基本施策名	
3 - 1 - 1	身近な交通ネットワークや広域交通ネットワークを充実する。	
重点施策ID	重点施策名	
- - -		

2. 事業名等				
事業名	生活道路整備（道路改良）事業	事業区分	②	①新規 ②継続 ③その他（ ）
細事業名	牛首線改良事業	実施形態	①	①毎年 ②隔年 ③その他（ ）
事業主体	市		①	①直営 ②指定管理 ③委託 ④その他（ ）
事業種別	① ①自治事務 ②法定受託事務			
実施期間	平成 17 年度 ～ 平成 24 年度	根拠法規	道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律	
各種の計画への反映（＝根拠計画）	市道整備計画	事業ID	21004	

3. 事業の内容等			
事業の背景 本路線は、豊後大野市の西北部に位置し、主要地方道三重野津原線と国道57号線を結ぶ1級市道である。豊後大野市は平成17年3月31日に大野郡5町2村による町村合併により新市が誕生した。それに伴い、本庁舎の位置は三重町に決定された。本路線は、新庁舎（中心部）と大野町、朝地町を結ぶ極めて重要な路線であるが、現道は幅員が狭く離合もままならない状況で通行に支障をきたしている。	補助事業	名称	地方道路整備臨時交付金事業
		補助率	国 県 その他 6.5/ 10 1/ 1/
		起債の種類	① 過疎債 ② ③
【目的】 地域の拠点生を高め、居住地から各生活拠点や中心部へ快適で安全な移動や歩行ができるように整備する。	事業概要 ○牛首線改良事業 大野町両家・大原 ・両家工区 延長 L=1,300m 幅員 W=5.5(9.25)m 現道拡幅（「歩道有り」） ・大原工区 延長 L=1,800m 幅員 W=5.5(7.0)m 現道拡幅（「歩道なし」）	前年度の評価 評価結果に基づき見直した内容	
【対象】 市民	E 維持		

4. 予算・決算の状況 (単位：千円)								
財源内訳		H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22	H 23～
予 算	国庫支出金	25,300	38,060	37,015	156,675	130,000	117,000	200,200
	県支出金							
	地方債	19,600	28,300	27,300	87,700	65,400	59,800	102,400
	その他	1,100	2,840	2,985	3,925	4,600	3,200	5,400
	一般財源				200			
計	46,000	69,200	67,300	248,500	200,000	180,000	308,000	
決 算	国庫支出金	25,300	38,060	37,015				
	県支出金							
	地方債	19,000	28,300	27,300				
	その他	1,700	3,100	2,725				
	一般財源		△ 260	260				
計	46,000	69,200	67,300					

5. 実績及び達成目標等							
過去3年間の事業実績と課題							
平成17年度		平成18年度		平成19年度		課題	
【実績】 全体概略設計 両家工区 地元説明、路線測量、用地測量、地質調査、道路詳細設計		【実績】 両家工区 用地買収・補償契約 改良工事 L=120m		【実績】 改良工事 L=688m 舗装工事 L=160m			
達成目標と前年度までの進捗状況……事業成果の目標となる指標と目標数値							
活動指標	進捗率						
効率指標	前年度決算額＞当該年度決算額 ⇒ 平成21年度は、コスト評価（経済性、効率性、効果性）を実施する。						
成果指標	居住地と全町の生活拠点を結ぶ所要時間（朝地町中心部から三重町中心部の間の所要時間）						単位 分
年度	H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22	備考
種別	所要時間	所要時間	所要時間	所要時間	所要時間	所要時間	
目標値			35	34	33	32	
実績値	36	36	35				
達成率			100.0%				
備考							

総合計画／実施計画書 事業事務事業評価シート

評価対象年度 H19 年度

評価実施年度 H20 年度

担当部局	部局名	建設部
	課室名	建設課

6. 前年度の事業評価				評価に関する視点	
事業の 必要性	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	5	時代や市民ニーズの変化への対応、事業目的の緊急性、重要性、さらには他の自治体の動向等を踏まえて評価する。	
理由	本路線については、幅員が狭小で離合等に支障をきたしているため。				
行政の 与	1 2 3 4 5 不要 ← → 必要	評価	5	この事業は行政が実施しなければならない事業なのか、民間でサービスを提供できないのか等、民間との役割分担を考慮して評価する。	
理由	本路線は市道であるので、道路管理者である市が事業実施をしなければならないため。				
手段の 妥当性	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	5	行政がこの事業を行うこととした場合、事業実施の方法は妥当か、効率的な方法なのか等、外部委託や受益者負担等を含めて評価する。	
理由	事業実施については、市道整備計画を定め計画的、効率的に実施をしているため。また、工事についても、指名競争入札により発注を行っているため。				
事業の 効果	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	5	事業の効果は上がっているのか、事業は効率的に実施できたのか、事業経費は事業実績と比べてどうか等、費用対効果も含めて評価する。	
理由	平成19年度事業は改良工事及び舗装工事であったが、現道幅幅が進められ、離合等の問題も解決されてきており、利便性や通行の安全性が向上しているため。				
事業の 算	1 2 3 4 5 減額 ← → 増額	評価	3	全ての行政経費の削減が求められる中で、予算を減額できないか、できないのであればその理由はなぜか等、事業経費の面について評価する。	
理由	事業の予算は年度毎に多少の増減はあるものの、全体的な予算の中で計画的な事業を実施しているため。				
人体 員制	1 2 3 4 5 減員 ← → 増員	評価	3	事業経費と同様、職員全体を削減せざるを得ない状況の中で、組織の見直し、グループ制の活用、外部委託等の様々な手法を含めて評価する。	
理由	道路改良事業は、グループ制を活用し、計画的に事業を実施しているものの、業務量から削減は困難であるため。				
事業 規模	A B C D E F 廃止 終了 統合 縮小 維持 拡大	評価	E	今後の事業規模の方向性について、事業の必要性、緊急性、事業経費や担当職員数の増減等を検討し、社会情勢や市民生活への影響等も十分考慮した上で、事業全体としてどのような方向へ進めていくのかを総合的に判断する。	
理由	市道整備計画に基づき、計画的に事業を継続しており、現状を維持する必要があるため。				
その他、特記事項	事業の内容や事業規模に関する意見、補足説明、事業改善の方向性等、特記すべき事項を記載する。				
部長	課長	班長	担当者	内線 2311 E-mail @bungo-ohno.jp	